

## 報告4 えびす・ぱれっとホーム新システム導入について

ぱれっとホームでは業務支援ソフトの「ほのぼのmore」を導入しました。それまでの経緯を報告いたします。

### 1) 業務支援ソフトとは

福祉業務をパソコン内の専用ソフトで一元管理し、利用者の情報を集約し(障がい特性、家族の緊急連絡先、服薬の内容など)、日々の記録(服薬をしたかどうか、食事の量、日中の様子など)を入力し、スタッフがそれを閲覧できるようにします。また、利用者へのサービスを行なった報酬請求(国保連請求)が簡易に行なえ、効率的に業務を行なえる有料のソフトです。

### 2) 「ほのぼのmore」導入の経緯

今までのホームの課題として、

- ・業務に必要な情報が過去の膨大な蓄積でいくつもあり、まとまっていない。

(たとえばホーム利用者と緊急一時利用者で個人情報ファイルが違ったりする)

- ・アルバイトが得られる利用者支援情報が職員に比べて十分ではない。

(支援の情報がシステムの都合上、ホーム職員しか見られないようになっている)

2つの課題を解決するには、全く新しいシステムを運用することが一番早く効率的ということになり、導入することにしました。主要な業務支援ソフトは「ほのぼのmore」の他にいくつかありましたが、区内の他事業所の多くがほのぼのmoreを使っていること、ホーム職員が前の職場で「ほのぼのmore」を使っていて作業に慣れていたこと、この2つが

決め手となり導入を決定しました。

### 3) 「ほのぼのmore」導入の効果

- ・利用者の個人情報の記録を過去から簡易に読み取れるようになる。
- ・職員・アルバイトで利用者の個人情報の閲覧の差がなくなり必要な時に必要な情報を得ることができる。(支援するには個人情報や引継ぎがとても重要としている。)
- ・紙での保存が必要な書類以外はペーパーレスで運用することができる。
- ・国保連請求も簡易にできるようになる。

### 4) 業務の効率化に向けて

ぱれっとホームでの記録引継ぎに関しては、紙で記録を書くこととホームで作成したフォーマットのExcelシートに記録等を書くようにしてきました。ここでは、必要な人が必要な時にすぐに情報が手に入らないというのを切に感じていました。今回「ほのぼのmore」を導入することでいわばプロに運用の手伝いをしてもらうこととなります。交代勤務が主なぱれっとホームでは、職員同士が直接顔を合わせる場面が少ないので、書面での情報の共有に特に重きを置いています。今回「ほのぼのmore」を導入することで、記録引継ぎがしやすい環境となると思っています。

ホームのような交代勤務は特にチームワークが業務の質にかかわることになりますので「ほのぼのmore」を導入することでよりチームワークが良くなることを期待しています。

(えびす・ぱれっとホーム 中本真一)